

脳波計測の基礎からBrainTechに繋がる応用研究

◆日時: 2026年03月11日(水) 13:00~17:00

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 脳機能解析研究室 室長 博士(科学) 成瀬 康 氏

脳の中には自分でも知らない無意識の情報がたくさんあります。この情報にアクセスすることは自分でも難しいのですが、脳波を使えば、その一部にアクセスすることができます。脳波には100年近い歴史があり、この無意識の情報にアクセスすることを目指した基礎研究が数多くあります。私は、この無意識の情報にアクセスできるという事実は様々な産業に応用できると考えており、過去の基礎研究の成果を元に、実際に産業応用につなげることを目指して研究開発を行っています。特に最近「BrainTech」というワードも広く知られているように、脳波を用いたビジネスが注目されています。本講座では、脳研究の基礎からBrainTechに繋がる応用研究まで解説します。

1. 自己紹介

2. 非侵襲脳機能計測法を用いた神経科学の基礎

2-1 脳機能計測手法の基礎

2-1-1 MRI計測

2-1-2 NIRS計測

2-1-3 脳磁場計測

2-1-4 脳波計測

2-1-5 非侵襲脳機能計測法の長所と短所

2-2 神経科学研究の例

2-2-1 脳機能計測の基礎 ~ノーベル賞研究を例として~

2-2-2 最近の非侵襲計測の基礎 ~言語理解を例として~

2-3 脳波の基礎

2-3-1 脳波の種類

2-3-2 α 波とは何か?

3. 脳波のこれまでの応用研究

3-1 Brain Machine Interface

3-1-1 脳波でカーソルを動かす

3-1-2 脳波でキーボードを打つ

3-1-3 脳波でスイッチをON、OFFする

3-2 リハビリテーションへの応用

3-3 多くの研究が何故、産業に結びつかないのか?

4. ウェアラブル脳波計の開発

4-1 ウェアラブル脳波計の動作原理

4-2 ウェアラブル脳波計のための電極の開発

4-3 ウェアラブル脳波計のための小型脳波計

4-4 ウェアラブル脳波計のためのヘッドギアの開発

4-5 様々なウェアラブル脳波計の比較

5. ウェアラブル脳波計による産業応用を目指した研究

5-1 脳波を用いたニューロフィードバック外国語学習法

5-2 脳波による英語力評価法

5-3 脳波を用いた脳のワークロードの定量化法

5-4 脳波を用いたエラー検出システム

6. 実環境での脳活動データを取得

6-1 ゲーム中の脳波計測

6-2 VR中の脳波計測

6-3 脳波×脳波の可能性

6-4 実環境での脳活動計測の今後

7. BrainTech

8. ウェアラブル脳波計を用いた脳波計測の実践

(ウェアラブル脳波計のデモ)

8-1 ウェアラブル脳波計の使用法

8-2 実際の脳波波形

8-3 脳波解析により得られる信号

『脳波計測【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● Webセミナーの受講申込みにについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>